

第5章 共通施策

近年の環境問題は、経済問題や社会問題などと相互に密接に関連し、複雑化してきている。こうした環境問題に対応するため、特定の環境分野に関する課題を直接的に解決するだけの単一的な考え方ではなく、環境施策により安全・安心な魅力ある地域を形成し、人の流入を促して環境産業の活性化を図り、さらに県民一人一人の環境意識の向上を促すことで持続可能な地域を目指す、といった複数の異なる課題を統合的に解決する観点からも取組を推進していく。

第1節 未来技術の導入促進

1 施策の展開

(1) 未来技術を活用した人材育成と生産性向上

ア スマート林業の推進

林業の成長産業化に向け、労働生産性及び安全性を向上させるため、自動化・省力化に対応できる新たな林業機械など未来技術を試験的に導入して、その効果を検証した。

(7) 森林資源情報高度デジタル化事業

航空レーザ計測による森林資源情報解析・地形解析した約50,000haのデジタルデータを、県森林クラウドに登載し、市町や林業事業者等が森林資源を高度に活用できる体制を整えた。

(4) 未来技術導入・実証事業

未来技術導入・検証として、7種の林業機械・ソフト等を現場で試験するとともに、技術の普及・横展開を図るため、現場研修会を計5回開催した。

(5) 生産管理ICT化推進事業

ICTを活用した需給情報の共有化（データベース化）による川上・川中・川下における生産・需要の見える化を図るため、データベース化した需給情報（参画企業75社）をもとにシステムの仕様書を作成した。

(1) 地域実装協議会運営事業

未来技術社会実装事業（内閣府）に基づき、令和2（2020）年12月7日に設置した「とちぎスマート林業推進協議会」において、スマート林業の実現に向けた事業計画等について議論を行った。

(2) 未来技術を活用した二次交通の利便性向上と公共交通の促進

ア EVを活用したMaaSの構築【再掲】

民間事業者と連携し、令和3（2021）年10月28日から日光地域において国内初の環境配慮型・観光MaaS「NIKKO MaaS」のサービスを開始した。

「NIKKO MaaS」では、お得で便利なフリーパスにより、マイカーによる来訪から鉄道への転換をさらに促進して日光地域の渋滞緩和を目指すとともに、EVの採用やRE100充電器の設置を推進し、脱炭素社会への先導モデルになることを目指している。「環境にやさしい観光地」としての日光地域のブランド強化と、周遊観光の振興による地域活性化を同時に進めていく。令和4（2022）年度は、「NIKKO MaaS」の認知度向上を目的とした東京圏へのデジタルマーケティングなどを実施した。

イ 無人自動運転技術の導入実証

無人自動運転移動サービス実証実験により、県内各地域の公共交通を取り巻く様々な課題解決の可能性を検証するとともに、県民の理解促進を図るため、中山間地域、観光地、市街地など県内10箇所の実証実験を実施していく。